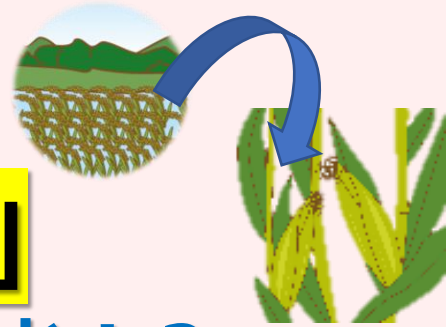


水田の作付転換に

「青刈りとうもろこし」

つくりませんか！？



- ✓ 他の転作作物（飼料用米等）と遜色ない所得が期待できます。
- ✓ 水管理の手間がかかりません！
- ✓ ほ場排水性の改善、連作障害防止に寄与します。
- ✓ 機械が無い場合には地域のコントラクター等にご相談ください。
（新たに飼料生産組織となる方が、飼料作業機械を導入できる補助金もあります（令和5年度予算を要求中））



ご不明な点は以下までお問い合わせください

農林水産省畜産局 飼料課	03-3502-5993	東海農政局畜産課	052-223-4625
北海道農政事務所 生産支援課	011-330-8807	近畿農政局畜産課	075-414-9022
東北農政局畜産課	022-221-6198	中国四国農政局畜産課	086-224-9412
関東農政局畜産課	048-740-0027	九州農政局畜産課	096-300-6279
北陸農政局畜産課	076-232-4317	沖縄総合事務局生産振 興課 畜産振興室	098-866-1653

農林水産省

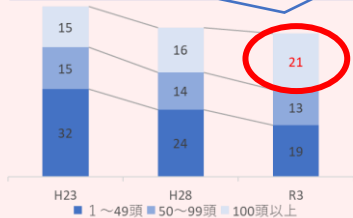
○なんで“青刈りとうもろこし”なのか？？

～酪農家のニーズがあります！～

現在、酪農経営は大規模化が進んでいます。一方で、大規模化が進むと、飼料生産まで手が回らず、特に都府県酪農では輸入飼料を使う傾向があります（下表）。

しかしながら、輸入飼料は高騰を続けており、国産飼料に注目が集まっているのです。

100頭規模以上の大規模酪農が増えていきます！



都府県酪農規模別飼養頭数 (万頭)

大規模酪農では自給飼料の作付が足りていません！

	1頭あたり作付面積 (ha/頭)
1頭～	0.16
50頭～	0.13
100頭～	0.06

都府県酪農規模別自給飼料作付面積 (R元)

○青刈りとうもろこしを作るメリットは？？

- ✓ 水管理の手間がかからないなど、**大幅な労力削減**が期待できます！
- ✓ 根を深く張るためほ場の物理性の改善、**連作障害防止**に寄与します。
- ✓ **一定の収入が確保**できます！温暖な地域で2期作を行えば、更なる所得upも！

青刈りとうもろこしの全国平均収量は4,960kg/10a（都府県では4,220kg/10a）です。（湿害に弱いため、特に水田転作初年度は収量が落ちる場合があります）

水田活用交付金の対象（35,000円/10a）にもなりますので、仮に4,000kg/10aの収穫で、15円/kgで販売できた場合には95,000円/10a、20円/kgであれば115,000円/10a、30円/kgであれば155,000円/10aの収入となります。

（※収入を保証するものではありません）

○青刈りとうもろこしを作る際、注意する点は？

- ✓ とうもろこしは湿害に弱いため、高収量かつ酪農経営が求める品質の商品を生産するには、**明渠・暗渠によるほ場の排水対策**を行う必要があります。

○どのように始めればよいの？誰に相談すれば良いの？

まずは使ってくれる酪農家を探すことが大切です。自治体の畜産担当や表面に記載の各地の農政局にご相談ください。また、地域のコントラクター（飼料生産組織）に生産を委託することも可能です。

地域ぐるみでの飼料生産支援体制の検討に必要な取組への支援を用意しています。（令和5年度予算を要求中）

青刈りとうもろこしとは？？

飼料用とうもろこし（デントコーン）を、完熟前の黄熟期ごろに収穫します。

茎、葉、実の全てを細断して乳酸発酵を1～2か月間行います。これをサイレージと呼び、サイレージは飼料分析後、牛へ給与されます。



青刈りとうもろこし



収穫・細断



バンカーサイロ



ラッピング

チェック!

農水省ウェブサイト
に需要者情報を
掲載しています。

